

研究課題名	筋萎縮性側索硬化症（ALS）の呼吸機能評価における横隔膜エコーの有用性検討
倫理委員会承認番号	302
当院の研究責任者（所属）	佐藤 恒太（脳神経内科）
他の研究機関および各施設の 研究責任者	なし
本研究の目的	顔面麻痺を呈する ALS 患者の呼吸不全を評価する方法としての横隔膜エコーの有用性を検討し、非侵襲的人工呼吸療法の早期導入の一助とすること。
調査データの該当期間	2019 年 1 月から 2023 年 12 月
研究の方法（対象者）	当院外来を受診あるいは入院した成人 ALS 患者
研究の方法（使用する情報）	呼吸機能検査と横隔膜エコー検査を行った患者の、検査時の年齢、性別、身長、体重、各種呼吸機能評価、顔面麻痺による呼吸機能評価時の口角からの空気の漏れ、横隔膜エコーの測定項目など、通常の診療で得られる情報。
試料／情報の他機関への提供	なし
個人情報の取り扱い	データの解析および研究成果の発表・公表においては、個人を特定できる形としない。
本研究の資金源（利益相反）	なし
備考	